

協働ですすめる防災イベント「竹あかりの集い」 ～子どもたちを災害から守りたい～

竹あかりの集い実行委員会 委員長 堀田 東作
書記 ○窪井 紀子

1. 活動方針・目的

竹あかりの集い実行委員会では、阪神淡路大震災の犠牲者を追悼し、ボランティアの輪を広げながら安全な町づくりをすすめてきました。

このたびの東日本大震災、台風 12 号の大災害を教訓として、地域の絆をさらに強め、防災の意識を高めることを目的として、3月10日（土）、第9回「竹あかりの集い」を開催します。

2. 活動内容

- ・式典（点灯・防災ずきん寄贈式・岩手県の幼稚園児への励ましメッセージ）
- ・平群町と岩手県「繋がる元気プロジェクト」パネル展
- ・東日本大震災写真展（写真家 三田崇博さん）
- ・防災スタンプラリー・防災体験コーナー
- ・ボランティア広場（点字・手話・ローソク作り）
- ・全員が心をあわせて「バケツリレー」
- ・炊き出し配布（豚汁 350 食 非常食かやくご飯 300 食）

3. 他の活動団体の参考となる事例

- ボランティア・地域住民・行政・学校・企業の協働ですすめる安全で安心なまちづくり
- 中学生とボランティアが協力して防災ずきんを作成し、子どもたちを災害から守る
- 住民に対する防災意識の向上をはかる

4. 今後の課題等

- 準備から当日まで一人でも多くの住民を巻き込む
- 助成金を申請して活動資金を確保する



平群町の概要



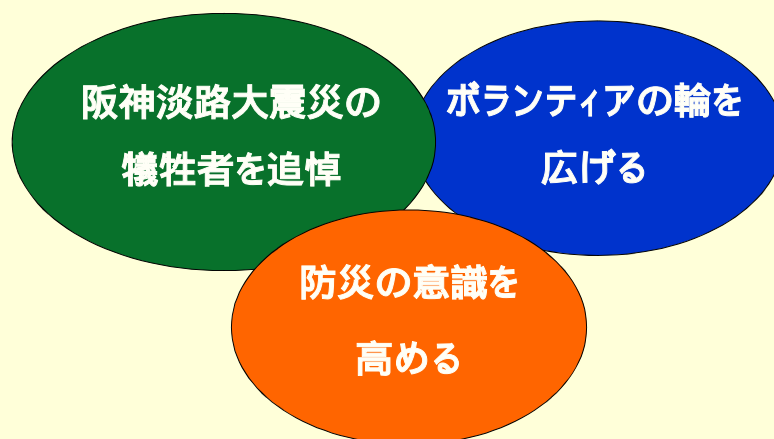
平群町ボランティア連絡協議会

- ▽ 平成8年9月に設立
- ▽ 社会福祉の向上に役立つ
- ▽ ボランティア相互の連携を図る



- ▽ 平成16年から「竹あかりの集い」を開催
- ▽ 平成20年から実行委員会として
- ▽ 安全で安心なまちづくりをすすめる

竹あかりの集い



例年、1月17日前後に開催

500本の竹筒と800個のメッセージボトルにあかりを灯して、
心をひとつにつなぎ、安全で安心な町を願う（プリズムめぐり）



ボランティアが作る竹筒で「1.17」



住民から寄せられたメッセージ



西和消防署の協力

防災ずきんで子どもたちを守ろう！

- ▼ 防災の啓発をオリジナル・見える形で示す
- ▼ ボランティアと中学生の防災ずきん作り
- ▼ 町内4小学校へ備品として寄贈
- ▼ 6年間継続してすべての小学生へ贈る（180枚/年）



試作の出来上がり！



家庭科室を使わせてもらおう

—教頭先生 談—
ウチはやんちゃな子が多いから、どんな迷惑をかけるかと心配で...

2日目からは、時間前に集まり、自主的に縫い始めていたのでびっくり！

3日間でのべ50名の中学生が協力



防災訓練で活用



住民には「大切な子どもたちを災害から守ろう！」
子どもたちには「見守られている」という安心感のシンボル

地域の協働をさらにすすめる

保護者や住民を巻き込んで

平群町連合PTAと連携
幼稚園児・高齢者へ

学校との連携を強化

- ◆ 中学校の授業の中で
- ◆ 奈良産業大学と連携

平群町自主防災連絡協議会の
構成団体として

奈良県 西和消防署 平群町防災会
消防団 民生児童委員

第9回 竹あかりの集い

日時 平成24年 3月 10日(土)
午後1時～5時

会場 プリズムへぐり
(近鉄梅田川駅 北へ5分)
奈良県生駒郡平群町西宮 2-1-6

一あたためいぼちづくりのために
竹あかりの作りかたを教習して、臨時避難
大講堂の備付けを促進し、ゆづりあいの
輪が広がれば安全な暮らしづくりがすすんで
いきます。このお祭りの当日も大講堂、大講
堂 12 号の大講堂を会場として、地域の団体
を中心に開催。防災の知識を高めるために
ぜひ「竹あかりの集い」に参加してください。

主催 竹あかりの集い実行委員会
生駒市コミュニティセンター(生駒市立中央公民館) 生駒市立中央公民館 生駒市立中央公民館

● 式典(生駒市立中央公民館大講堂へのお祭り) 午後1時～
● 「つゆあかり(人形)」バナー展 1時～5時
● 東日本大震災写真展(写真家 三浦健太郎展) 1時～5時
● 震災大空アブリアー(コール&レスポンス記録展) 2時～3時30分
● ボランティア広場(ほろろ餅・ろうそく作り) 2時～3時30分
● 全員が心をあわせて「バカウリ」 3時30分～
● 防災出し配券(抽選100名 抽選券300枚) 4時～5時

第9回の新たな取り組み

- ▶ 防災体験コーナー・防災体験スタンプラリー
(家庭の防災マニュアル作り 防災ワークショップ)
- ▶ 「災害時要援護者支援システム」(民生児童委員)
- ▶ 「救急医療情報キット」(平群町福祉課)
- ▶ 自主防災連絡協議会・防災会・消防団



防災をキーワードに町中がひとつにつながる場としたい

子どもたちのやさしい心を伝えたい！

～ 東日本大震災で生まれた交流の輪～

